

カネイ 中川仏壇

仏壇職人による

お仏壇ご修繕の

箇所と解説

よくご相談・ご依頼いただく、ご修繕の箇所とその解説をまとめました。ご参考にしてください。

カネイ中川仏壇は、一般のご家庭から、寺院・神社・神宮まで、さまざま規模・宗教・宗派を超え、心をこめて対応させていただいております。
ちよつとしたご修復からご新調まで、お悩みの方は遠慮なくご相談ください。仏壇職人が現地に伺い現物を確かめ、お客様に最適なご提案をさせていただきます。

I 雨戸(外の扉)の修繕

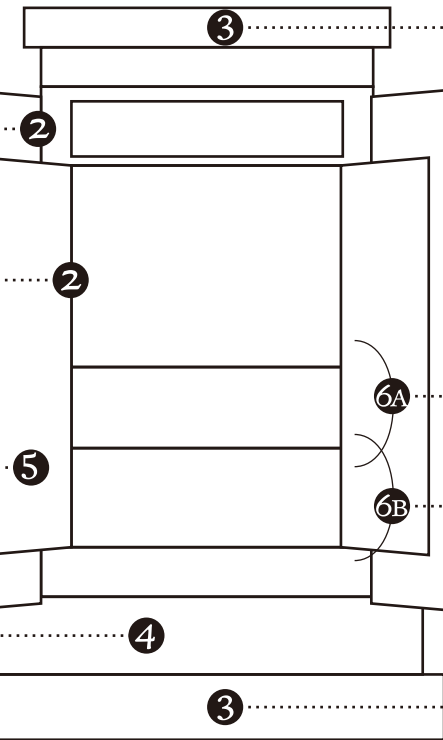
板がそり、開閉しづらくなります。ケヤキの雨樋を再利用し、框(かまち)を新品にします。

2 蝶板のたしくだ

長年の開閉ですり減った蝶番(ちょうつがい)に、たしくだをいたします。浜壇の場合は、金具のメッキを施します。

3 虫食い生地の取り換え

いまの仏壇はヒバやヒノキが上下台輪に使われますが、昔の仏壇は、松でできています。そのため、虫食いが多くみられます。



4 蒔絵の新調

全消扮、金丸、味ジン梨地、高蒔絵など多種多様です。工程が多いと値段も高価になることもあります。

5 障子(中の扉)の修繕

すり減った蝶番により、下段ブチに干渉することがよくみられます。裏蝶番の変更または打ち直しをいたします。障子は、骨ネズミヤカビの修繕、古くなった紗(しゃ)の張替えも行います。

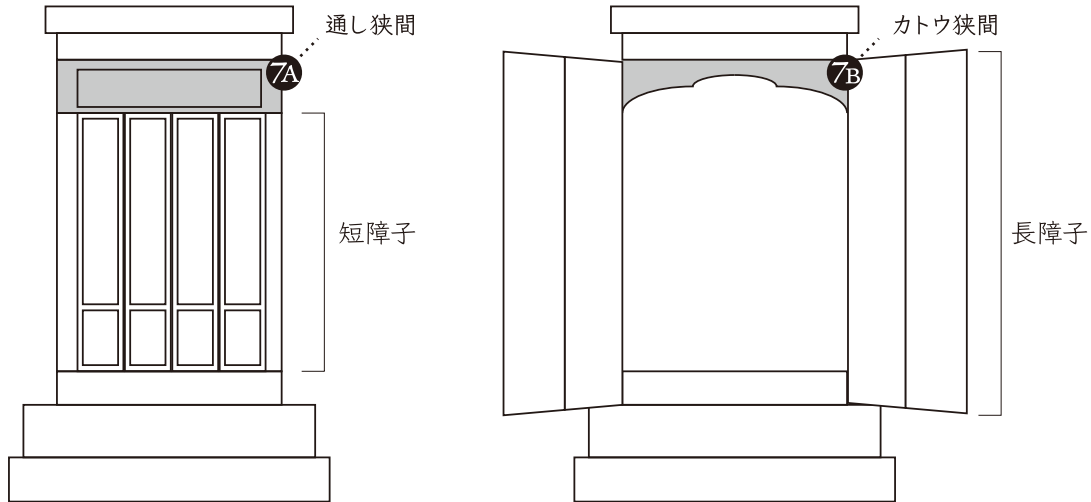
6 三段

6A お給仕されにくい場合や、ロウソクの火が屋根にあたりそうな場合は、上段中段の高さを変更いたします。

6B つい仏具をコンコンと当ててしまうため、ポコポコになっていることがあります。下段中段の当てキズの修繕を行います。うるしを塗り直す場合は、下地の段階からキレイにいたします。

7
狭間

通し狭間(7A)から、カトウ狭間 (7B)の変更が可能です。カトウ狭間は、障子を閉めれば仏壇内部が見えなくなり、ぐっとイメージが変わります。仏壇が生活空間になじみやすくなる、と感じられる方も少なくありません。



【 電気配線の修理・交換 】

古い仏壇の配線は、100Vのものがほとんど。いまの仏壇はLEDを用い、ショートなどの心配もなく、安全になりました。

【 金箔・金粉のスレ 】

金箔や金粉は何年経っても金ですが、掃除の際に、つい拭き取ってしまいがちです。すべての金を押し直すことでキレイになります。

【 金具の鍍金
(めっき・トキン) 】

仏壇金具の地金は銅製です。経年劣化で錆びていたり、緑青がふいても、鍍金をすることで新品になります。当店では、ピカピカにせず、消メッキ（消鍍金／けしめっき）を用いて、落ち着いたイメージに仕上げられることもできます（他店では消メッキにしないことも多いようです）。

【 仏具の修理 】

三具足の花瓶（かひん）の水漏れ、つるの頭の折れ、卓の足がとれた、卓の漆の塗り直しなど、各種の修理に対応いたします。

【 飾り金具新調 】

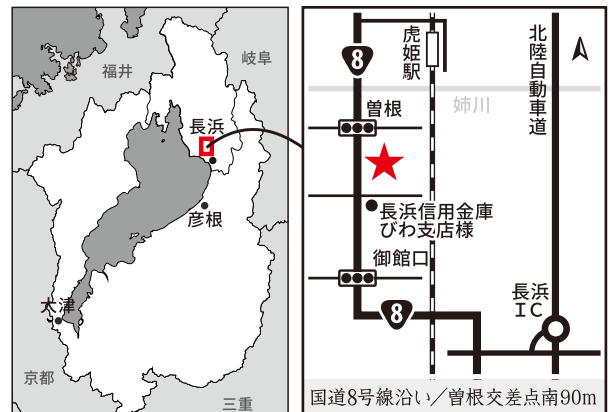
飾り金具がないものに新たにお付けしたり、違ったものに取り替えることも可能です。既製品から手打ちの金具まで、ご希望に応じて対応いたします。本体を修理されず、障子のみの変更だけでも、目新しい印象に生まれ変わります。

創業文化四年 — 西暦1807年 —

カネイ 中川仏壇

まずはお気軽にご相談ください。 0749-72-8115

kaneinakagawa.com



〒526-0103 滋賀県長浜市曾根町 1315
Fax: 0749-72-8617 | Email: info@kaneinakagawa.com